

令和6年度(2024年度)当初予算案（一般会計）の概要

歳入歳出予算総額：91億円

(対前年度19億9,200万円(28.0%)増)

(単位：百万円)

	R2(2020年)	R3(2021年)	R4(2022年)	R5(2023年)	R6(2024年)
当初予算額	6,313	5,999	6,729	7,108	9,100
対前年度伸び率	▲1.7%	▲5.0%	12.2%	5.6%	28.0%

『未来へつなぐ次世代への投資予算』

令和6年度当初予算案については、「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れるまち竜王町」づくりを柱とし、第六次総合計画で定めた10年後のあるべき姿「若者も暮らしたい希望かなえる 輝竜の郷 ～心弾む 新時代へのチャレンジ～」を実現するため、限られた財源の中でも、これまでのまちづくりの取組および重点施策プロジェクトの取組を継続しつつ、竜王町中心核「交流・文教」ゾーン整備のリーディングプロジェクトである竜王小学校の建設について重点的かつ着実に推進します。また、子育て世帯の経済的支援として小中学校の給食費の無償化を行うとともに、令和7年の国スポのスポーツクライミング競技の開催に向けた準備を継続して行う等「未来へつなぐ次世代への投資予算」としており、一般会計の歳入歳出予算総額を過去最高規模 91億円(対前年度 28.0%増)としています。特に重点的に取り組むものとして、中心核整備事業に係る予算17億7,749万円(対前年度10億49万円増)、国スポのスポーツクライミング競技の開催に向けた予算1億2,213万円(対前年度6,813万円増)としています。加えて、予算規模の大きい事業について、住民対応窓口ワンストップ化に向けた総合庁舎1階事務室等改修工事2億3,973万円(対前年度2億2,673万円増)、国が推進する行政情報システム標準化等に向けた予算2億3,567万円(皆増)としています。主な事業については、以下のとおりです。

活力あふれるまちづくり ～発展・進化を生み出す豊かさの創造～

1 竜王町中心核「交流・文教ゾーン」の整備

(1) 新規 新・竜王小学校の建設 12億6,795万円

竜王町中心核「交流・文教ゾーン」整備のリーディングプロジェクトである竜王小学校の建設工事に着手します。「～竜王らしく キラリと輝く 『地域とともにある学校』づくり～」を整備コンセプトとして、安心して快適かつ多様な学びの教育環境を提供します。

※総額40億6,192万円(令和7年度：27億9,396万円)

(2) **継続** 「交流・文教ゾーン」の造成および道路工事ならびに公園等工事に向けた準備 **5億954万円**

竜王町中心核「交流・文教ゾーン」の整備を進めるため、事業地造成・道路工事を継続して行うとともに、ゾーン内の公園および学童保育所の実施設計を行います。

【内容】造成工事3億2,954万円、道路工事1億3,492万円、公園実施設計2,099万円、学童保育所実施設計1,873万円 等

2 魅力ある地域農業の持続的な発展

(1) **継続** 竜王らしい農村環境の整備 **461万円**

農地の大区画化等の基盤整備に向けた効果予測を継続して行うとともに、生産性の高い効率的かつ安定的な土地改良事業の支援を行います。

【内容】持続的な農業の基盤整備に向けた効果予測等調査支援業務委託料396万円 等

(2) **拡充** 需要につながる特色のある「竜王」農産物の生産と産地づくり **650万円**

本町の魅力ある農業を推進するため、スマート農業の導入や果樹の生産力向上、6次産業化の取組等を支援します。

【内容】魅力ある農業の創生事業補助金650万円

(3) **拡充** 耕・畜・工連携によるバイオマス資源の循環 **567万円**

竜王町バイオマス産業都市構想に基づく耕・畜・工の連携によるバイオマス資源の地域内循環を実現するため、近江牛の排せつ物等を活用したメタン発酵バイオ液肥・堆肥の実証、エネルギー作物の試験的な栽培およびバイオマスボイラーの導入を行います。

3 道路ネットワークの強化と地域交通の充実

(1) **継続** 新たな道路整備の推進と道路・橋梁の維持管理 **1億4,974万円**

交通の利便性向上のため、国道8号と接続する新設の町道について現地調査を行います。また、町道の舗装修繕や橋梁の点検等により長寿命化を図ることで、通行の安全を確保します。

【内容】新設道路現地調査業務委託料900万円、道路改良・舗装等工事7,700万円
橋梁点検業務委託料5,200万円 等

(2) **継続** 幹線交通と地域内交通の維持・確保 **5,592万円**

町外へ移動する際、既存の路線バスの確保のため、運行等に対する補助ならびに子育て支援を目的とした通学定期補助および夜間特別便を継続します。また、各拠点をつなぐ「チョイソコりゅうおう」についても、運行を継続します。さらに、竜王町公民館前のバス停の環境改善を図ります。

【内容】チョイソコりゅうおうの運行1,278万円、夜間特別便運行业務委託料390万円、通学定期補助金700万円、路線バス等環境整備工事110万円 等

4 選ばれるまちの実現に向けた魅力発信とふるさと納税の推進

(1) **拡充** まちの魅力発信と定住・移住の促進 **1,547万円**

定住人口の獲得を目指すため、町の魅力を内外に発信するシティプロモーションを継続して行います。また、若者定住のための住まい助成を継続して行うとともに、転入した子育て世帯に対して町独自に給付金を給付します。あわせて、新婚夫婦の新生活を応援するため、住宅費用、リフォーム費用および引越し費用の助成を新たに行います。

【内容】シティプロモーション事業87万円、若者定住住まい補助金1,100万円、こども新生活応援給付金150万円、新婚生活支援事業210万円

(2) **継続** ふるさと納税の推進 **1億7,116万円**

町内の特産品を掘り起こすとともに、新規の返礼品開発等に努め、町の知名度の向上および観光振興等につなげます。(寄附実績 令和4年度：2億1,325万円、令和5年度(見込み)：4億8,000万円)

安心して暮らせるまちづくり ～次世代に引き継げるやさしさの創造～

1 こどもまんなか社会と地域共生社会の構築

(1) **新規** 小中学校の給食費の無償化 4,520 万円

子育て世帯の経済的支援のため、小中学校の給食費を無償化します。また、町外の小中学校等に通学する児童および生徒の給食費の助成を行います。

【内容】小中学生の給食費無償化 4,390 万円、小中学校給食費補助金 130 万円

(2) **拡充** 妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援 6,319 万円

すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう伴走型相談支援および経済的支援ならびに環境整備を行うため、「妊婦および0歳から2歳の乳幼児を養育する子育て世帯へのお産・子育て応援交付金」、「新生児から就学前までのこども1人あたり1万円の商品券の給付」、「在宅児童の一時預かりの実施」等を行うとともに、こどもまんなか社会の実現に向けてこどもまんなか会議の運営および竜王町こども計画の策定を行います。また、引き続き小中学生の医療費の助成を行うとともに、新たに高校生世代への助成を拡充します。

【内容】お産・子育て応援交付金 800 万円、就学前児童誕生祝報償費 523 万円、

子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料 293 万円、一時預かり事業 374 万円、

小中学生および高校生世代の医療費無償化 3,880 万円 等

(3) **継続** 地域まると包括的支援の推進 8,102 万円

孤立、貧困、疾患等の各世帯の抱える複合的な困りごとに対し、関係機関、地域住民が連携して、受け止め、伴走、解決できるための包括的な総合相談や地域づくりを推進します。

【内容】地域力強化推進事業 1,100 万円、相談支援事業 462 万円、地域子育て支援拠点事業 839 万円 等

(4) **新規** 帯状疱疹の予防促進 170 万円

帯状疱疹の発症や重症化を予防するワクチン接種について経済的負担の軽減を図るため、接種費用の一部を助成します。

【内容】帯状疱疹予防接種費用助成金 170 万円

2 子どもの生き抜く力を育む魅力ある学校・園づくり

(1) **継続** 「確かな学力」を育む学校教育の推進 875 万円

子どもの学力把握および学ぶ力の向上を図るため、引き続き町独自施策として総合学力調査を実施するとともに、「徹底反復学習」に取り組みます。さらに、英語教育については、認定こども園、小学校、中学校の系統性を一層重視し、英語に慣れ親しむ機会を拡大するなど更なる充実を図ります。

【内容】英語教育推進事業 602 万円 等

(2) **継続** 教職員が子どもと向き合う時間の確保と地域で支える部活動体制の整備 1,611 万円

教職員が授業研究や児童生徒と向き合える時間を確保して教育活動を充実させるとともに、教職員の働き方改革の進展を図るため、スクール・サポート・スタッフ、学校支援マネージャー、部活動指導員等の配置や増員により学校の支援体制の充実を図ります。あわせて、部活動の地域移行に向けた取組を継続して行います。

【内容】学校現場業務改善推進事業 1,280 万円、

地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業 297 万円 等

3 「する・みる・ささえる」豊かなスポーツライフの推進

- (1) **【拡充】** 第79回滋賀国民スポーツ大会開催に向けた競技施設の設営準備と機運醸成 **1億2,213万円**

令和7年度に開催される滋賀国民スポーツ大会では本町がスポーツクライミングの競技会場地となることから、これを契機に競技会場の改修等を行うとともに、競技施設の設営準備を行います。また、大会開催に向けて引き続き、ドラゴンボルダリングジムを活用した普及啓発と大会への機運醸成を図ります。

【内容】総合運動公園整備工事 4,500万円、

第79回国スポスポーツクライミング競技施設設営等業務委託料 6,800万円 等

- (2) **【新規】** 豊かなスポーツライフの充実にに向けたスポーツ拠点施設等の整備 **3,947万円**

町民誰もが健康に年を重ねることができる豊かなスポーツライフの実現に向けたスポーツ拠点施設として、河川敷にグラウンドゴルフ場を整備します。

【内容】河川敷公園整備工事 3,500万円 等

4 地域防災力の向上と交通安全対策の推進

- (1) **【拡充】** 農業用ため池の災害リスク低減 **4,050万円**

近年の地震・豪雨等によりため池が決壊し、下流域の人家等に大きな被害をもたらす事例が頻発していることから、地震に対するため池の耐震性能の診断を行うとともに、ため池の決壊を未然に防止するため廃止工事を行います。

【内容】ため池詳細調査（耐震）業務委託料 3,200万円、ため池廃池等整備工事 600万円 等

- (2) **【拡充】** 地域防災力の強化に向けた消防施設の整備と消防装備の充実 **2,592万円**

大きな災害の発生に備えて地域防災力の強化を図るため、消防ポンプ車庫の設置および小型動力ポンプの整備を行うとともに、消防団員の処遇改善のため、新基準（夏用）活動服を整備します。

【内容】消防ポンプ車庫設置工事 1,500万円、小型動力ポンプ整備 436万円、

消防団用新基準活動服（夏用）506万円 等

- (3) **【拡充】** 交通安全対策の推進 **588万円**

交通安全意識の向上および転倒時のリスク軽減を図るため、自転車用ヘルメットの購入助成を行います。また、危険箇所について、関係機関と連携しながら交通安全施設の整備を推進します。

【内容】自転車用ヘルメット購入補助金 13万円、通学用ヘルメット補助金 10万円、

交通安全施設整備および修繕 473万円 等

みんなで進めるまちづくり ～新たな時代に対応したつながりの創造～

ワンストップサービスの推進と地域コミュニティの活性化

- (1) **【新規】** 住民対応窓口ワンストップサービスとデジタル化の推進 **2億4,819万円**

住民対応窓口のワンストップ化に向けて総合庁舎1階事務室等改修工事を行います。また、利便性の高い行政サービスを提供するため、POSレジを導入します。

【内容】総合庁舎1階事務室等改修工事 2億3,500万円、POSレジ導入 846万円 等

- (2) **【継続】** 自治会活動への支援と地域コミュニティの活性化 **2,832万円**

地域住民の自主性および協調性の向上ならびに個性的で魅力ある地域の形成と協働によるまちづくり意識の向上を図るため、自治会が行う事業に対し助成を行います。また、地域コミュニティの維持・活性化の取組を行います。

【内容】未来へつなぐまちづくり交付金 1,857万円、コミュニティ助成事業 840万円、

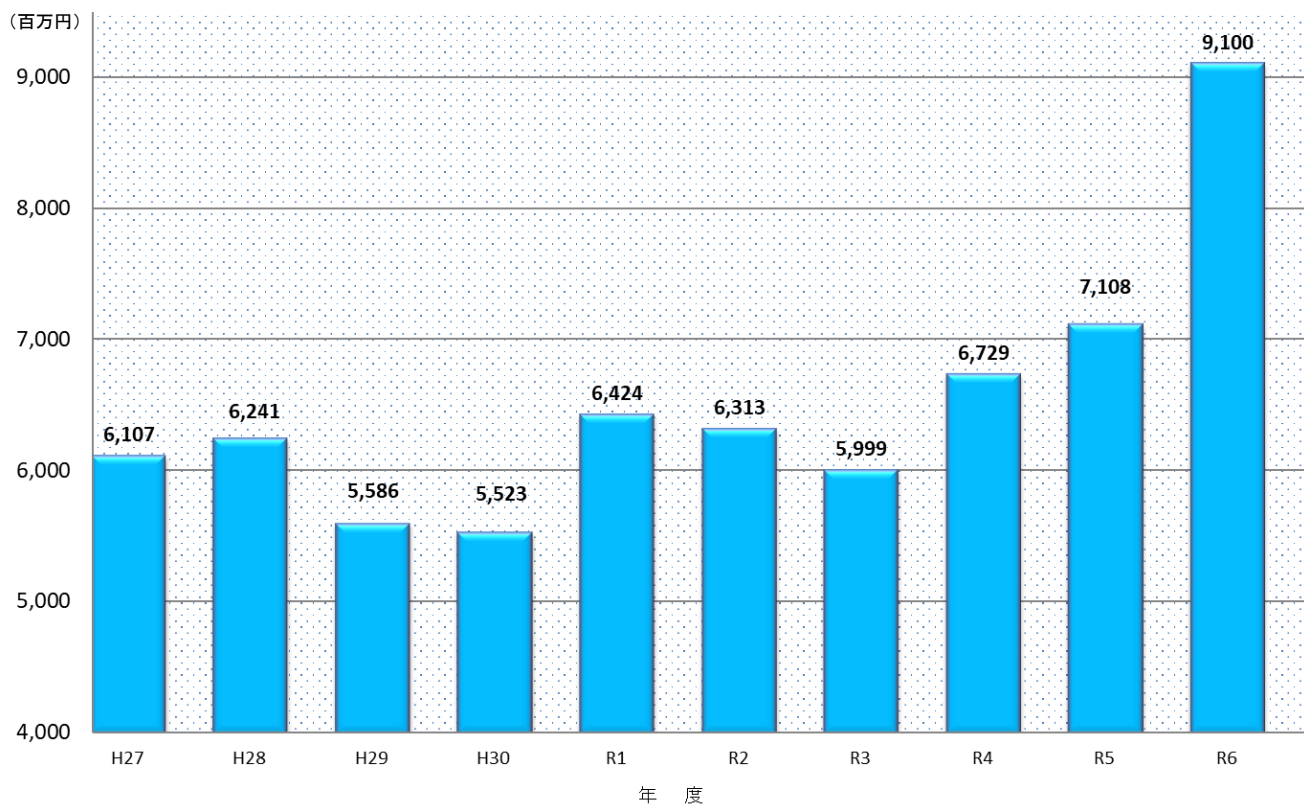
地域コミュニティ維持・活性化事業 135万円

歳入・歳出の内訳

【歳入】

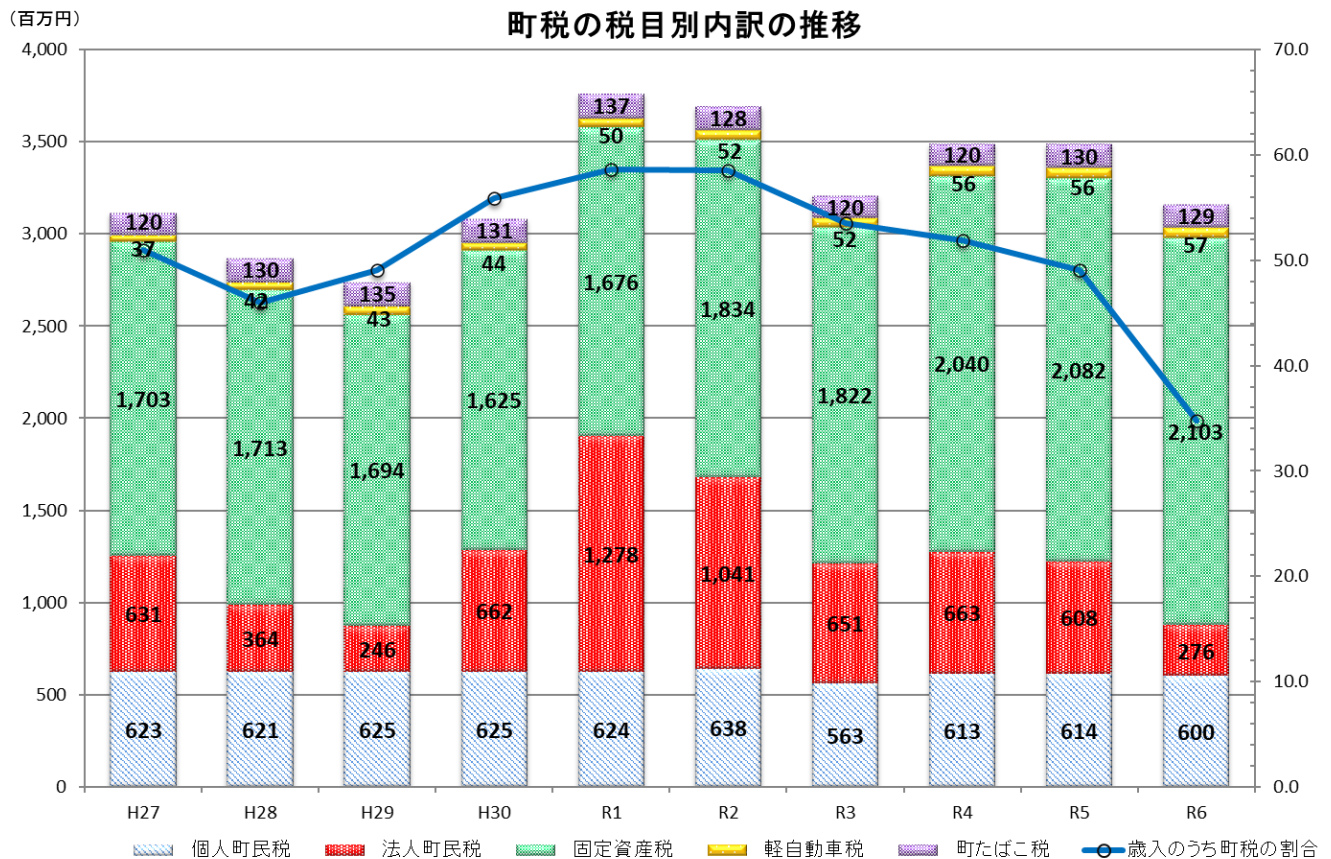
歳入においては、町税を 31 億 6,502 万円、対前年度 3 億 2,380 万円（9.3%）の減少を見込んでいます。これは、町税のうち固定資産税については、2,170 万円の増加が見込まれますが、法人町民税について 3 億 3,220 万円の大幅な減少を見込んでいます。なお、町税の大幅な減少が見込まれるものの、地方交付税（普通交付税）については、不交付となる見込みであることから、極めて厳しい財政状況であり、歳出削減および歳入確保に努めてもなお不足する所要の財源のため、財政調整基金から 9 億 145 万円を、減債基金から 1 億円を取り崩すこととしました。また、これまで積み立てた特定目的基金について必要な事業に充当するため、竜王小学校改築基金から 1 億円を、公共施設維持管理基金から 5,000 万円を、教育厚生施設等整備基金から 2,200 万円を取り崩すこととしました。

当初予算規模の推移



町税 31 億 6,502 万円（3 億 2,380 万円、9.3%減）

固定資産税については、2,170 万円の増加が見込まれますが、個人町民税について 1,310 万円、法人町民税について 3 億 3,220 万円の減少を見込んでいます。



法人事業税交付金 1 億 2,000 万円（対前年度増減なし）

地方法人特別税・譲与税制度の廃止に伴う法人町民税法人税割の減収分の補てん措置として、法人事業税の一部が県から交付されるものです。

地方交付税 3,000 万円（対前年度増減なし）

普通交付税について、令和 5 年度は交付団体となりましたが、令和 6 年度は法人町民税等の減収が見込まれるものの不交付となる見込みです。なお、特別交付税は令和 5 年度と同額の 3,000 万円を計上しました。

国庫支出金 11 億 5,178 万円（5 億 361 万円、77.7%増）

竜王小学校の建設工事に係る学校施設環境改善交付金 2 億 2,940 万円、公立学校施設整備費負担金 5,239 万円、中心核整備の交流・文教ゾーン造成工事等に係る社会資本整備総合交付金 7,993 万円、地方公共団体情報システム標準化移行等に係るデジタル基盤改革支援補助金 7,781 万円、総合運動公園の長寿命化に係る社会資本整備総合交付金 4,905 万円等が増加しました。

県支出金 6 億 3,198 万円（1 億 386 万円、19.7%増）

農業水利施設の機能保全計画策定等に係る農業水利施設保全合理化事業補助金 1,500 万円等が減

少しものの、国スボスポーツクライミング競技施設の設営等に係る国スボ競技施設整備費補助金 6,800 万円、農業用ため池の耐震調査および廃止工事等に係る農地防災事業補助金 2,456 万円、医療費の一部助成に係る福祉医療費補助金 695 万円、集落営農組織の農業用機械導入等に係る集落営農活性化プロジェクト促進事業補助金 690 万円等が増加しました。

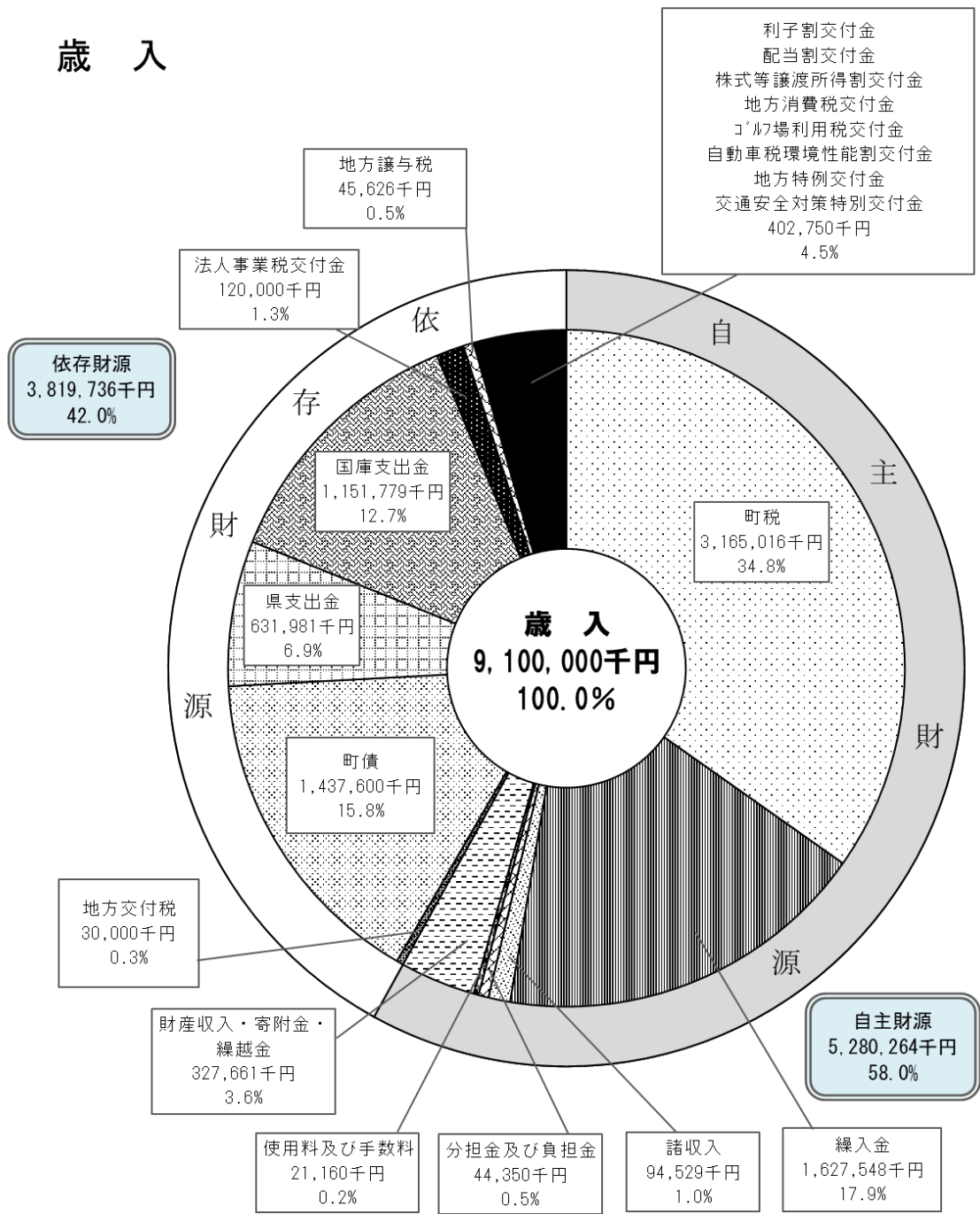
繰入金 16 億 2,755 万円（10 億 1,026 万円、163.7%増）

財政調整基金繰入金 5 億 2,909 万円、未来につなぐふるさと交遊基金繰入金 2 億 4,447 万円、減債基金繰入金 1 億円、竜王町立竜王小学校改築基金繰入金 6,500 万円、公共施設維持管理基金繰入金 5,000 万円、教育厚生施設等基金繰入金 2,200 万円が増加しました。

町債 14 億 3,760 万円（5 億 6,540 万円、64.8%増）

中心核整備の交流・文教ゾーン造成工事等に係る町債 3 億 2,560 万円、国営日野川土地改良事業負担金に係る町債 6,210 万円、南部地区防災センター解体工事に係る町債 6,000 万円等が減少したものの、竜王小学校の建築工事に係る町債 7 億 9,250 万円、庁舎の改修に係る町債 1 億 7,050 万円等が増加しました。

歳入



〔歳出〕

《目的別》

議会費 7,855 万円（188 万円、2.3%減）

タブレット端末の導入完了により減少しました。

総務費 20 億 9,391 万円（2 億 6,478 万円、14.5%増）

中心核整備に係る交流・文教ゾーン造成工事等が減少したものの、総合庁舎 1 階事務室等改修工事、行政情報システム標準化システム移行業務委託料、ふるさと納税業務委託料、ガバメントクラウドシステム利用料等が増加しました。

民生費 18 億 6,467 万円（1 億 3,657 万円、7.9%増）

保育所運営費等が減少したものの、児童手当、自立支援給付費、学童保育所建設工事設計業務委託料、福祉医療扶助費、放課後児童健全育成事業委託料、後期高齢者医療負担金等が増加しました。

衛生費 5 億 203 万円（1,196 万円、2.4%増）

水道事業に係る一般会計繰出金等が減少したものの、後期高齢者健診委託料、妊婦健診等委託料、ワクチン接種委託料、带状疱疹予防接種費用助成金等が増加しました。

農林水産業費 3 億 7,110 万円（1 億 4,774 万円、28.5%減）

ため池詳細調査（耐震）業務委託料等が増加したものの、国営日野川地区土地改良事業負担金、下水道事業（農業集落排水）に係る一般会計繰出金等が減少しました。

商工費 7,439 万円（25 万円、0.3%減）

地域産業研修センター指定管理料、軽自動車購入助成事業補助金等が増加したものの、ふるさと竜王夏まつり実行委員会補助金、商工振興推進強化業務委託料等が減少しました。

土木費 8 億 6,203 万円（1 億 8,954 万円、28.2%増）

町道道路改良・舗装他工事、橋梁長寿命化修繕工事等が減少したものの、総合運動公園施設整備（改修）工事、橋梁点検業務委託料、運動公園指定管理料、河川敷公園整備工事等が増加しました。

消防費 3 億 1,871 万円（3,978 万円、11.1%減）

南部地区消防ポンプ車庫設置工事等が増加したものの、南部地区防災センター解体撤去工事の完了等により減少しました。

教育費 22 億 3,989 万円（14 億 2,437 万円、174.7%増）

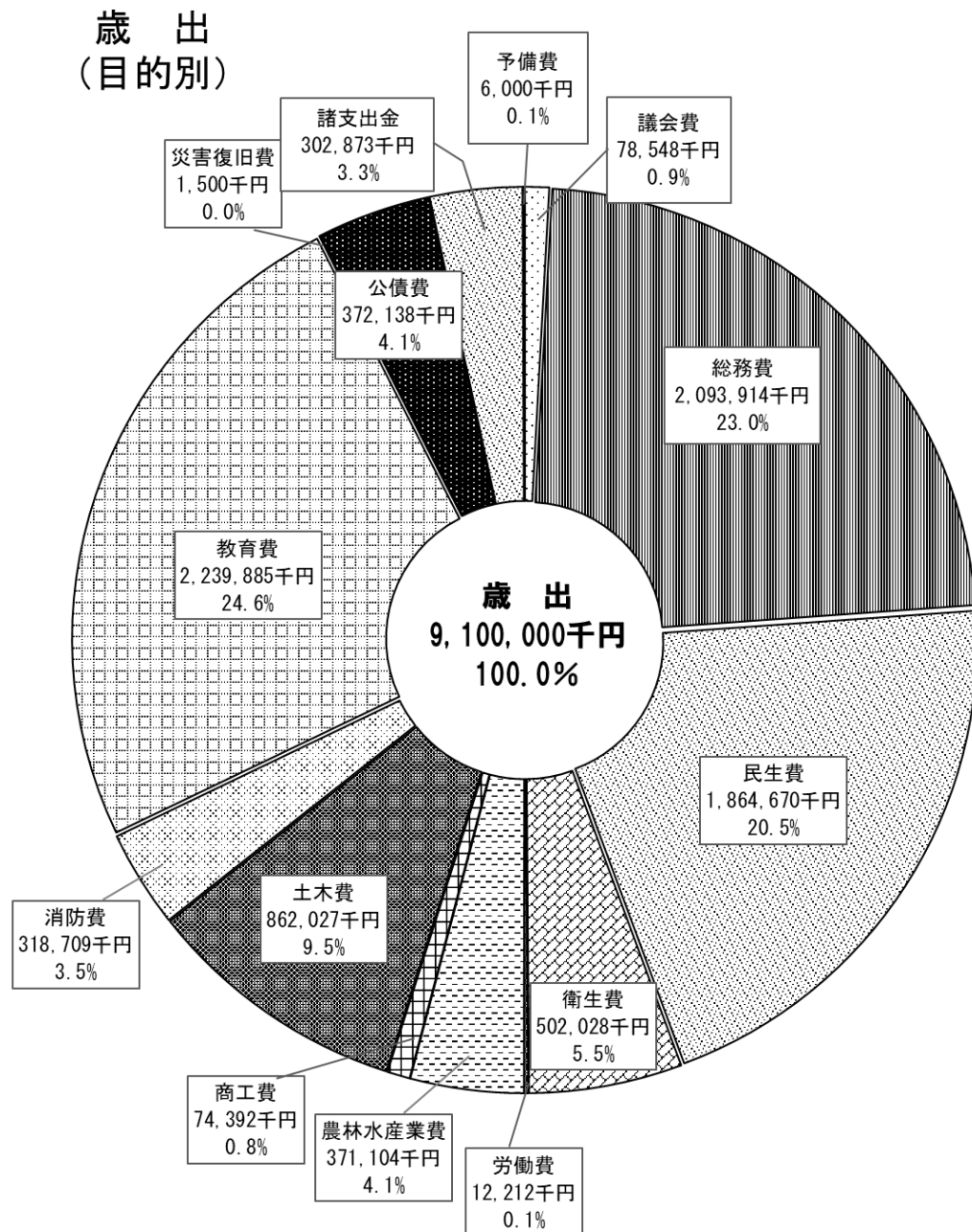
文化財保存事業補助金等が減少したものの、竜王小学校建築工事、第 79 回国スポーツクライミング競技施設設営等業務委託料等が増加しました。

公債費 3 億 7,214 万円（300 万円、0.8%増）

償還元金および償還利子が増加しました。

諸支出金 3億287万円（1億5,126万円、99.8%増）

未来につなぐふるさと交産基金積立金等が増加しました。



《性質別》

人件費 17億1,058万円（1億1,880万円、7.5%増）

会計年度任用職員手当等が増加しました。

物件費 17億5,431万円（5億8,804万円、50.4%増）

総合庁舎1階事務室等改修工事設計業務委託料、農業水利施設の機能保全計画策定業務委託料の完了等により減少したものの、行政情報システム標準化システム移行業務委託料、ふるさと納税業務委託料、第79回国スポーツクライミング競技施設設営等業務委託料、橋梁点検業務委託料、ガバメントクラウドシステム利用料、運動公園指定管理料等が増加しました。

扶助費 9億7,873万円（5,364万円、5.8%増）

保育所運営費等が減少したものの、児童手当、自立支援給付費、福祉医療扶助費等が増加しました。

補助費等 13 億 8,284 万円（1 億 4,446 万円、9.5%減）

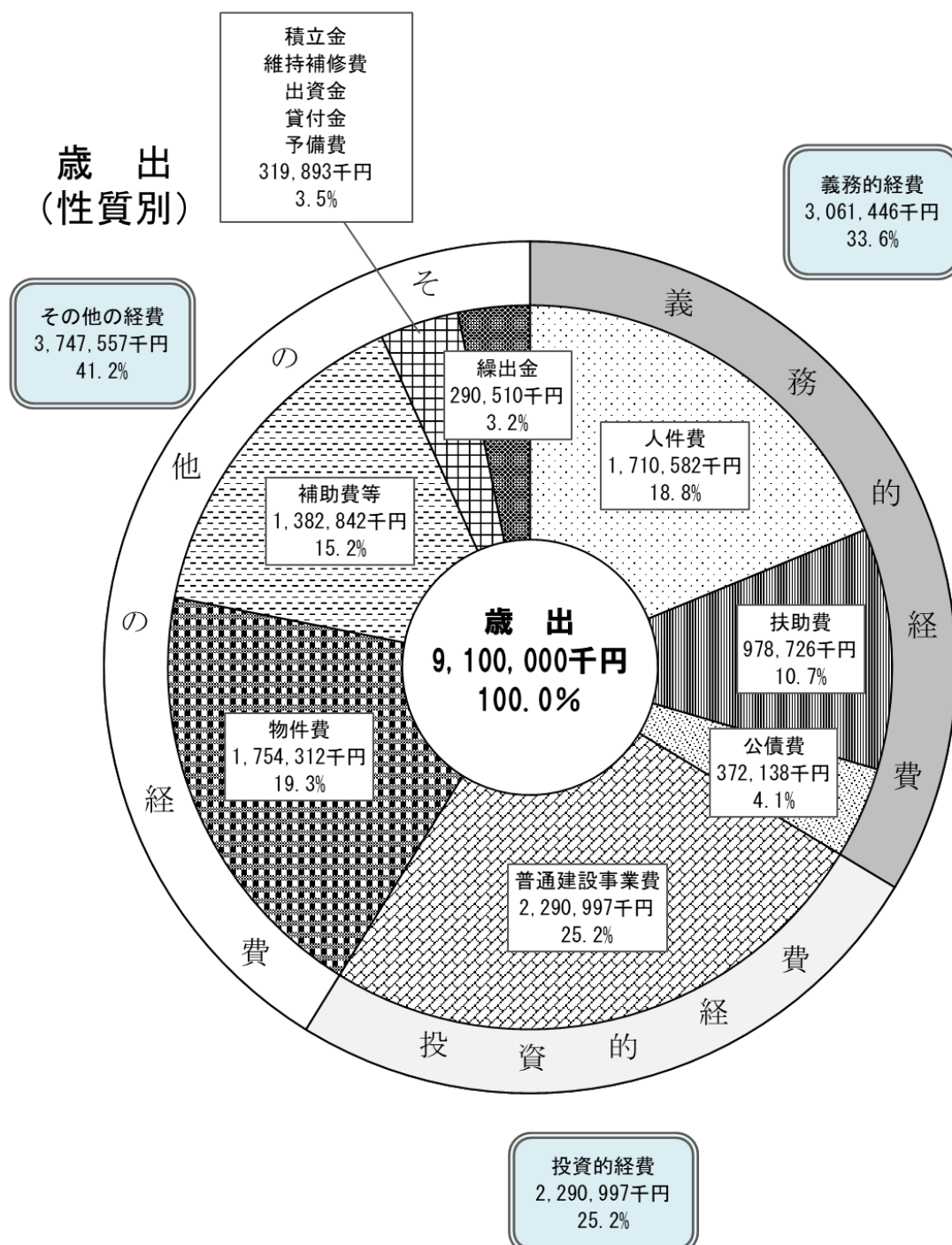
竜王町地域公共交通活性化協議会負担金、放課後児童健全育成事業委託料等が増加したものの、国営日野川地区土地改良事業負担金、下水道事業（農業集落排水）に係る一般会計繰出金等が減少しました。

繰出金 2 億 9,051 万円（4,182 万円、16.8%増）

介護保険特別会計繰出金等が減少したものの、小中学校の給食費の無償化および給食資材費高騰対策に係る学校給食事業特別会計繰出金等が増加しました。

普通建設事業費 22 億 9,100 万円（11 億 8,654 万円、107.4%増）

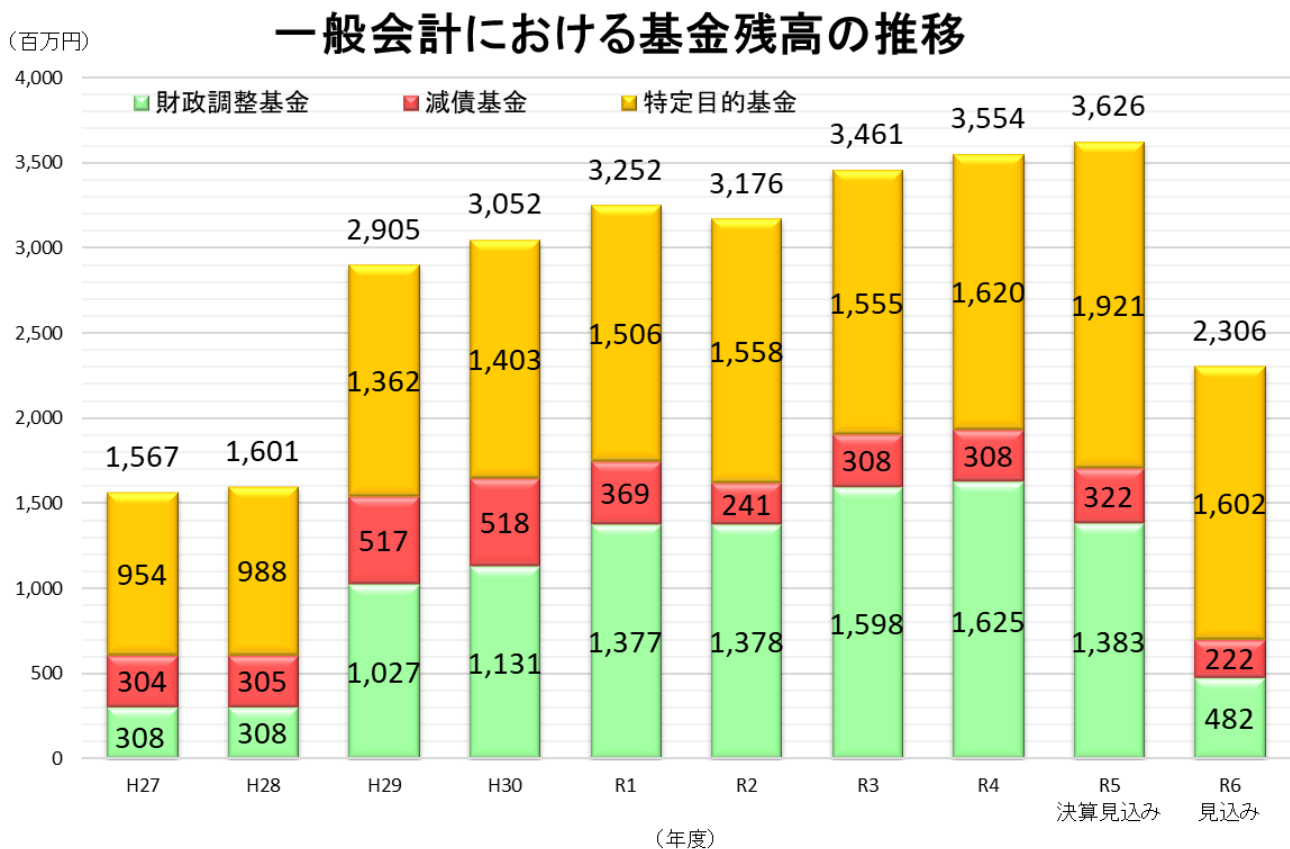
中心核整備に係る交流・文教ゾーン造成工事、南部地区防災センター解体撤去工事の完了等により減少したものの、竜王小学校建築工事、総合庁舎 1 階事務室等改修工事等が増加しました。



[基金残高見込]

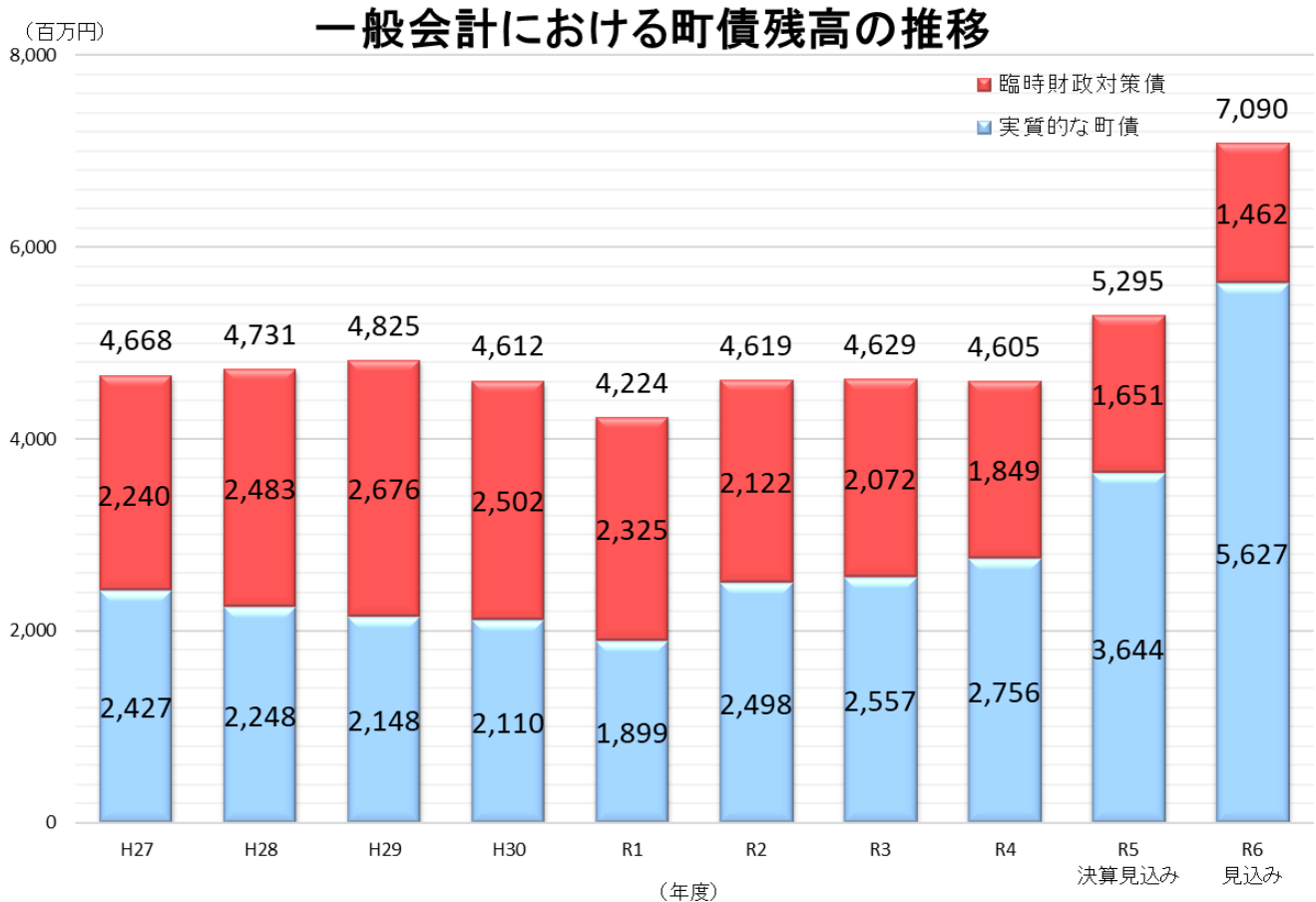
令和5年度一般会計予算は、町税のうち固定資産税について当初の想定を上回る増収が見込まれる一方で、個人町民税および法人町民税収については、減少が見込まれます。あわせて決算見込みによる財源不足分として財政調整基金から2億4,304万円の取崩しを予定しています。

令和6年度一般会計当初予算案については、法人町民税収の減少が見込まれるとともに財政需要が大幅に増加すること、また、普通交付税が交付されない見込みであるため、財政調整基金から9億145万円を、減債基金から1億円を取り崩すこととしています。これにより、令和6年度末で財政調整基金の残高は4億8,200万円程度に、減債基金の残高は2億2,200万円程度になる見込みです。また、その他の特目基金について様々な行政課題に対応するため、6億2,152万円の取崩しを予定しています。なお、未来につなぐふるさと交龍基金に3億円の積立てを予定しており、令和6年度末のその他特目基金の残高は16億200万円程度になる見込みです。

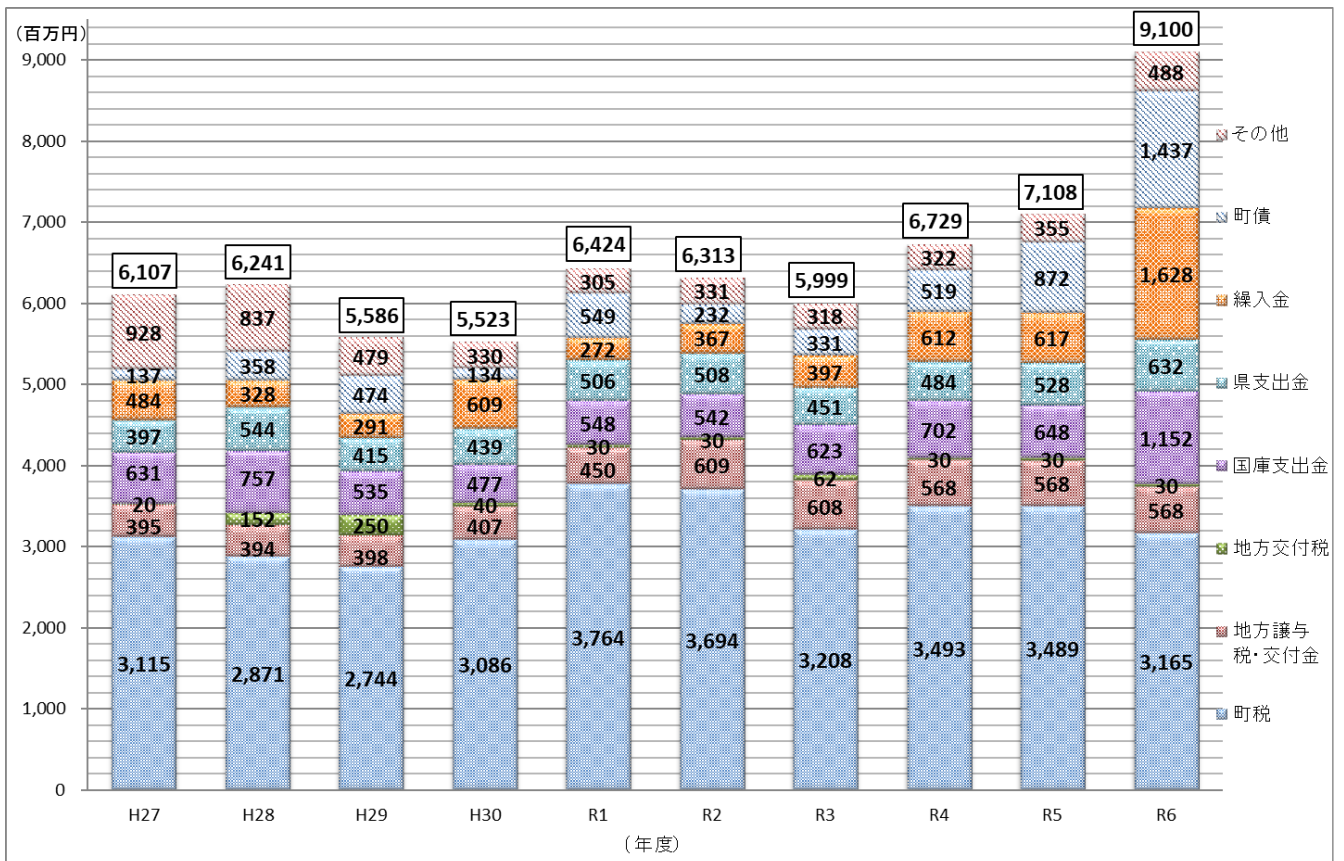


[町債の発行および残高見込]

町債発行額は、14億3,760万円の前年度当初予算と比べると5億6,540万円（64.8%）の増加と
しています。この主な要因は、竜王小学校の建設および総合庁舎1階事務室等改修工事等による
ものです。令和6年度末の町債残高は、70億8,963万円に対し前年度17億9,442万円の増加となる見
込みです。これは、令和6年度中に町債を発行する分と、国の補正予算を含めた令和5年度から
の繰越事業の追加発行分の増額を見込むものです。



一般会計歳入予算の内訳の推移



一般会計歳出予算の内訳の推移

